

とり くみ め に ゆ - いち らん よこはま こくさい しん べっさつ
取組メニュー一覧 (ヨコハマ国際まちづくり指針・別冊)

今後、国際性豊かなまちづくりを推進するうえで、ふさわしいと考えられる事例を、「よこはま国際性豊かなまちづくり検討委員会」報告書の提案等を基に、幅広く記載しました。

なお、この一覧では、主体の項目欄において、以下の4つの主体を略語で表わしています。

主体 (略語)	説明
市民 (市民)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民または市民全体を指します。 ・NPOや外国人市民等も含まれ、その場合は、そのように表記することもあります。
民間事業者 (民間)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業や民間施設を指します。 ・民間の外国人学校や医療機関等も含まれ、そのように表記することもあります。
公益団体 (公益)	<ul style="list-style-type: none"> ・YOKE、IDEC、YCVB等の公益団体を指します。 ・場合により、特定の公益団体を表記することもあります。
行政 (行政)	<ul style="list-style-type: none"> ・主に横浜市役所の区及び関連する局を指します。

(注) YOKE: (財)横浜市国際交流協会
 IDEC: (財)横浜産業振興公社
 YCVB: (財)横浜観光コンベンション・ビューロー

と り く み め に ゆ ー た い け い ず
取 組 メ ニ ュ ー 体 系 図

よ こ は ま こ く さい
ヨコハマ国際
まちづくり
し し ん
指 針

だ い ぶ
第 1 部
が い こ く じ ん
外国人が
す
住 み や す い
ま ち を め ざ し て

だ い ぶ
第 2 部
が い こ く じ ん
外国人が
お と ず
訪 れ た い
ま ち を め ざ し て

こ み ゆ に け い し ゃ ん し え ん
(1) コミュニケーション支援

せ い か つ し え ん
(2) 生活支援

た ぶ ん か き ゃ う せ い
(3) 多文化共生のまちづくり

こ く さい せ い ゆ た
(1) 国際性豊かなまちづくり
に な じ ん ざ い い く せ い
を 担 う 人 材 の 育 成

か つ ど う か ん き ゃ う
(2) 活動しやすい環境

が い こ く じ ん ひ
(3) 外国人を惹きつける
み り よ く
魅 力 づ く り

じ ゃ う ほう て い き ゃ う
① 情報提供
そ う だ ん た い せ い
② 相談体制
に ほ ん ご が く し ゅ う し え ん
③ 日本語学習支援

き よ じ ゅ う
① 居 住
き ゃ う い く
② 教 育
し ゅ う ち ゃ う
③ 就 労
い り ゃ う ほ け ん ふ く し
④ 医 療 ・ 保 健 ・ 福 祉
ぼう さい
⑤ 防 災
あ ん な い ひ ゃ う じ だ い ぶ き ゃ う つ う
⑥ 案 内 ・ 表 示 < 第 2 部 共 通 >

こ う り ゅ う そ う ご り かい に ち じ ゃ う ち い き さ さ
① 交 流 ・ 相 互 理 解 ・ 日 常 の 地 域 の 支 え あ い
が い こ く じ ん し ゐ ん じ り つ し ゃ かい さん かく
② 外 国 人 市 民 の 自 立 と 社 会 参 画

え い ぎ ゃ う い く
① 英 語 教 育
た げ ん ぎ ゃ う い く
② 多 言 語 教 育
こ く さい かん かく じ ゃ う せ い
③ 国 際 感 覚 の 醸 成

び じ ね す じ ゃ う か ん き ゃ う せ い び
① ビジネス上の環境整備
く ろ う り ゃ う り べ ん せ い こ う じ ゃ う
② 空 港 利 用 利 便 性 の 向 上
け い かん し ぜん かん き ゃ う
③ 景 観 ・ 自 然 環 境

と し い め ー じ こ う じ ゃ う
① 都 市 イ メ ー ジ の 向 上
ち い き れ き し さ い に ん し き
② 地 域 の 歴 史 の 再 認 識
よ こ は ま ぶ ん か じ ゃ う せ い
③ 横 浜 ら し い 文 化 の 醸 成
み り よ く か ん こ う い べ ん と
④ 魅 力 あ る 観 光 と イ ベ ン ト
み な と み り よ く
⑤ 港 の 魅 力 づ く り

こうもく 項目	とりぐみ 取組	げんじょう 現状	こんご すず かた 今後の進め方	じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等	しゅたい 主体
だいぶ 第1部(1) こみゆにけーしょん コミュニケーション しえん 支援	よこはましがいこくごこうほう 「横浜市外国語広報のあり方 に関する指針」に基づく情報 提供の推進	がいこくごこうほう 外国語広報の方向性について ガイドラインを定めたところであ る。(H17.4.1)	がいこくじん たい じょうほうとう ていきょう 外国人に対する情報等の提供を 積極的かつ的確に推進する。	ちやうないぜんたい ししん しゅうち 庁内全体への指針の周知	ぎょうせい 行政
	くやくしょがいこくじんとろうくまどぐち 区役所外国人登録窓口での 生活基礎情報の配布	ほとんどのくやくしょ じっし ほとんどの区役所で実施してい る。	がいこくじん せいかつ ひつよう じょうほう 外国人の生活に必要な情報 を網羅して配布する。	こくほ のうぜいとくやくしよたか 国保、納税等区役所他課との 連携	ぎょうせい 行政・ こうえき 公益
	くやくしょまどぐち たげんごたいおう 区役所窓口での多言語対応 能力の向上	とくていこじん たよ おお そし 特定個人に頼ることが多く、組 織的対応が十分とは言えな い。	たげんごたいおうまに ゆ ある さくせい 多言語対応マニュアルを作成 し、関係職員に対し研修を行う。	てきせつ まに ゆ ある さくせい 適切なマニュアルの作成 適切な指導者の確保	ぎょうせい 行政・ こうえき 公益
	がいこくじん む いんさつぶつ ほーむペー 外国人向け印刷物・ホーム ページ等の多言語化	たげんご さっし ほーむペーじとう 多言語の冊子・ホームページ等 が十分とは言えない。	ししん もと たげんごか すいしん 指針に基づき多言語化を推進す る。	じょうほう たげんごか すべての情報を多言語化する のは難しい	ぎょうせい み 行政・民 んかんこう 間・公 えき しみん 益・市民
	らじお せいかつじょうほうとう ていきょう ラジオでの生活情報等の提供	らじお こくごほうそう じつ FMラジオで5か国語放送を実 施している。	ひ つづ ほうそう けいぞく 引き続き放送を継続する。	すぼんさー ほうそうよさん スポンサーあるいは放送予算 の確保	ぎょうせい ほう 行政・放 そうきかん 送機関
	がいこくじんこみゆにてい じょうほうにーず 外国人コミュニティの情報ニ ーズの把握	がいこくじん じょうほうにーず はあく 外国人の情報ニーズを把握せ ずに情報提供している場合が ある。	はばひろ じょうほうにーずちようさ じっし 幅広く情報ニーズ調査を実施す る。	こくせき ねんれいとう てきせつ さんぶる 国籍・年齢等、適切なサンプル の選定	ぎょうせい 行政・ こうえき 公益
	たげんごじょうほうさっし はいふきょうりよく 多言語情報冊子の配布協力	はいふ きょうりよく こんびにえん 配布に協力してくれるコンビニ エンスストア等が限られてい る。	ちいきとくせい ふ きょうりよくだんたいしよ 地域特性を踏まえ協力団体(商 店街)を増加させる。	ひつよう おう はいふさき けんとう ちょ 必要に応じた配布先の検討・調 整	みんかん 民間・ ぎょうせい 行政
	きんりん がいこくじん じょうほうはっしん 近隣の外国人への情報発信	きんじよ がいこくじん す 近所に外国人が住んでいても 付き合い方を不安に思う人も いる。	ふだん あいさつ かいらん 普段から挨拶をしたり、回覧など 必要な情報をやさしい日本語で 提供するように努める。	せつきよくてき こうりゆう 積極的に交流しようとする住民 の増加	しみん 市民

こうもく 項目	とりぐみ 取組	げんじょう 現状	こんご すず かた 今後の進め方	じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等	しゅたい 主体	
<p>だいぶ 第1部(1) こみゆにけーしょん コミュニケーション支援</p>	<p>そうだんたいせい ②相談体制</p>	<p>えいご ちゆうごくご すべいんご 英語・中国語・スペイン語の3 こーるせんたー たげんごたいおう コールセンターの多言語対応 か国語で試行的に運用してい る。(H18.4.1)</p>	<p>たげんごたいおう けいぞく 多言語対応を継続するとともに りようりつ こうじょう めざ 利用率の向上を目指す。</p>	<p>こーるせんたー がいこくごたいおう コールセンター外国語対応の しゅうち 周知</p>	<p>ぎょうせい 行政・ こうえき 公益</p>	
		<p>えいご ちゆうごくご すべいんご ぽると 英語・中国語・スペイン語・ポ る がいこくご しみんそうだん 外国語による市民相談 トガル語・ハングルで相談を受 けている。</p>	<p>がいこくご しみんそうだん りようりつ 外国語による市民相談の利用率 こうじょう めざ の向上を目指す。</p>	<p>がいこくご しみんそうだん しゅうち 外国語による市民相談の周知</p>	<p>ぎょうせい 行政</p>	
		<p>こくさいこうりゅうらうんじ そうだんきのう 国際交流ラウンジの相談機能 の強化</p>	<p>こくさいこうりゅうらうんじ 困ったときに国際交流ラウンジ に相談する外国人の割合が高 いとは言えない。</p>	<p>そうだんじれい きょうゆうか たいおうげんご 相談事例の共有化、対応言語の らうんじかんちようせい ラウンジ間調整などにより相談 機能を強化する。</p>	<p>こくさいこうりゅうらうんじ 国際交流ラウンジ相談機能の しゅうち 周知</p>	<p>こうえき 公益・フ ラウンジ</p>
		<p>がいこくじんじゅうぎょういん たい 外国人従業員に対する相談 機能の充実</p>	<p>きぎょうない そうだんまどぐち じゅうぶん せつ 企業内に相談窓口が十分に設 置されているとは言えない。</p>	<p>がいこくじんじゅうぎょういん そうだん たいおう 外国人従業員の相談に対応す る窓口を設置する。</p>	<p>てきせつ そうだんしゃ かくほ 適切な相談者の確保</p>	<p>みんかん 民間</p>
		<p>がいこくじん そうだん たいおう 外国人からの相談に対応する 人材の育成</p>	<p>がいこくじん にちじょうせいかつ 外国人からの日常生活相談に 対応できる人材が十分と言 えない。</p>	<p>しな い かんれんだんたい れんけい 市内の関連団体との連携により 人材育成を進める。</p>	<p>がいこくじんしえん どう れんけい 外国人支援NPO等との連携</p>	<p>こうえき 公益・ラウ ンジ・ NPO・市民</p>
		<p>にほんご ③日本語 がくしゅうしえん 学習支援</p>	<p>にほんごがくしゅう ひつよう ばしょ 日本語学習に必要な場所の 提供</p>	<p>にほんごがくしゅう ひつよう ばしょ かく 日本語学習に必要な場所の確 保が難しい。</p>	<p>くやくしょ かいぎしつ がっこう よゆう 区役所の会議室や学校の余裕 きょうしつどう かつよう けんとう 教室等の活用を検討する。</p>	<p>くやくしょ しょうちゅうがっこう れんけい 区役所や小中学校との連携</p>
<p>にほんごがくしゅう きょうざいはくせい こう 日本語学習の教材作成や講 師育成・派遣</p>	<p>さまざま こうぎれ べる にほんごきよ 様々な講義レベルの日本語教 室があり、すべてが優れている とは言えない。</p>		<p>たんきかん じっせんてき がくしゅう きよ 短期間に実践的に学習できる教 材を作成し、講師を育成する。</p>	<p>すぐ にほんごきょうしつどう れんけい 優れた日本語教室等との連携</p>	<p>こうえき 公益・市 民</p>	
<p>じっせんてき にほんごきょうしつ かいさい 実践的な日本語教室の開催</p>	<p>せいかつ しょくば ひつよう にほんご 生活や職場に必要な日本語を 短期間で学べる実践的な教室 が求められている。</p>		<p>じっせんてき にほんごきょうしつ ちくせんたー 実践的な日本語教室を地区セン ターやコミュニティハウス等で開 催する。</p>	<p>てきせつ ばしょ こうし かくほ 適切な場所と講師の確保</p>	<p>しみん 市民・公 益</p>	

こうもく 項目	とりぐみ 取組	げんじょう 現状	こんご すず かた 今後の進め方	じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等	しゅたい 主体	
だいぶ 第1部(1) こみゆにけーしょん コミュニケーション 支援	③日本語 がくしゅうしえん 学習支援	がいしけいきぎょうない にほんごけ 外資系企業内での日本語研 修	にほんごきょうしつ かま 日本語教室に通う機会がない が がいしけいきぎょう しやいん かぞく 外資系企業の社員や家族がい る。	がいしけいきぎょうない しやいん かぞく 外資系企業内で社員や家族を たいしやう にほんごきょうしつ かいさい 対象とした日本語教室を開催す る。	がいこくじんしえん れんけい 外国人支援NPOとの連携	みんかん 民間
		にほんごきょういく う がっこう 日本語教育を受けられる学校	にほんごきょういく う がっこう 日本語教育を受けられる学校 の増加が望まれている。	にほんごきょういく う がっこう 日本語教育を受けられる学校を じゅうじつ 充実させる。	にほんごがっこう せっち か 日本語学校を設置しやすい環 境	にほんご 日本語 学校
		がいこくじん じしゆてき にほんご 外国人による自主的な日本語 きょうしつ かいさい 教室の開催	がいこくじんしみん きかく うんえい 外国人市民が企画し運営する にほんごきょうしつ ぞうか のぞ 日本語教室の増加が望まれて いる。	がいこくじんしみん じはつてき にほんご 外国人市民が自発的に日本語 きょうしつ きかく じっし しえん 教室を企画・実施するよう支援す る。	がいこくじんしみん みずか にほんごしゅうとく 外国人市民も自ら日本語習得 つと に努めることが必要	がいこくじんし 外国人市 民・市民
だいぶ 第1部(2) せいかつしえん 生活支援	①居住	にゅうきよしえん す しょうかい ほしよ 入居支援(住まいの紹介や保 証料の補助)の実施	よこはましみんかんじゅうたく にゅうきよ 「横浜市民間住宅あんしん入居 事業」が外国人にあまり利用さ れていない。	じぎょう しゅうち りようそくしん 事業の周知などにより利用促進 をはか を図る。NPOなどと連携を進め る。	せいど こうほう 制度の分かりやすい広報 しんさきじゆん めいかくか 審査基準の明確化	ぎょうせい 行政・ NPO
		ちいき とらぶる はっせいじ しえ 地域でのトラブル発生時の支 援	ことば つうじないためにとらぶる 言葉が通じないためにトラブル が発生したり解決がすすまない ことがある。	どうこくじん く に せいかつ 同国人あるいはその国で生活し ていた人等を通訳として派遣して とらぶる かいけつ てつだ トラブルの解決を手伝う。	てきせつ つうやく はけん 適切な通訳を派遣するための きそでーた ひつよう 基礎データが必要	こうえき し 公益・市 民
		きぎょう みりようしやたくとう かつよう 企業の未利用社宅等の活用	りゅうがくせい にゅうきよ れんか 留学生が入居しやすい廉価な 住宅の増加が望まれている。	きぎょう りよう しやくたく 企業の利用していない社宅等を りゅうがくせいとう れんか か だ 留学生等へ廉価で貸し出す。	こうへい こうせい にゅうきよしやせんこう 公平・公正な入居者選考 にゅうきよご せきにんたいせい 入居後の責任体制	みんかん 民間
		じゅうきよかしだ すす そう 住居貸出しを進めるための相 互理解の推進	やめし せいかつしゅうかん ちが どう 家主が生活習慣の違い等による とらぶる しんぱい す トラブルを心配するため、住まい を見つけない場合もある。	がいこくじん たい りかい ふか 外国人に対する理解を深めるとと にほん せいかつしゅうかんじょうほう(ゴミの 分別等)を外国人に提供する。	そうご りかい ふか じよ 相互に理解を深めるための情 報のやりとり	こうえき し 公益・市 民・外国人
		こそだ きょういく かん せいど 子育てや教育に関する制度や サービスの情報提供	ほごしや りかい こそだ きょう 保護者が理解できる子育て・教 育情報が十分に提供されてい るとは言えない。	し どう ほごしや む はいふぶつ お知らせ等、保護者向け配布物 を分かりやすくする。	がな にほんご ふり仮名つきのやさしい日本語 あるいは多言語での情報提供	ぎょうせい 行政・民 間・公益

こもく 項目	とりぐみ 取組	げんじょう 現状	こんご すず かた 今後の進め方	じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等	しゅたい 主体	
だいぶ 第1部(2) せいかつえん 生活支援	きょうい ②教育	しょうちゅうがっこうとう たぶんかきょうせい 小中学校等における多文化共 いきょうい 生教育	がっこう 学校などにおいて、子どもどう しの相互理解が十分でない ケースがある。	しょうちゅうがっこうとう こくさいりかい 小中学校等において、国際理解 教育を一層充実させる。	こと ぶんか かんが そうご そんちよう 異なる文化・考えを相互に尊重 する風土づくり	ぎょうせい 行政
		がいこくじんじどう せいと がくしゅええ 外国人児童・生徒への学習支 援	せいかつかんきょう がくしゅかんきょう へんか 生活環境や学習環境の変化に より、学習の理解に時間のか かる外国人児童・生徒もいる。	がいこくご しみんぼらんていあ 外国語のできる市民ボランティア の協力を得て、学習内容の理解 を進める。	ぼごい がくしゅええん 母語を活かした学習支援のあ り方の研究推進	ぎょうせいしみ 行政・市 民・公益
		がいこくじん こそだ かん しん 外国人の子育てに関するシン ポジウム等の開催	がいこくじん こそだ かん だんたい 外国人の子育てに関する団体 等の連携強化が望まれてい る。	がいこくじん こそだ かん しん ぼ 外国人の子育てに関するシンポ ジウム・連絡会等を開催する。	かんれんだんたい れんけい 関連団体の連携	ぎょうせいしみ 行政・市 民・公益
		きょういせんもんそうだん じっし 教育専門相談の実施	ぼごしゃ せんもんてき きょういそうだん 保護者が専門的な教育相談を 受ける機会の増加が望まれ る。	がいこくじんしえん れんけい 外国人支援NPOと連携して、ラ ウンジや地域で教育専門相談を 定期的に実施する。	かんれんだんたい れんらくかい 関連団体による連絡会など連 携の強化	こうえきらうん 公益・ラウ ンジ・NPO
	きょうい ②教育 がいこくじんがっこう (外国人学校)	がいこくじんがっこう しんせつ ぞうせつ 外国人学校の新設・増設	がいしけいきぎょうしゃいん こ 外資系企業社員の子どもたち の教育を担う外国人学校が十 分とは言えない。	がいこくじんがっこう しんせつ ぞうせつ ともな 外国人学校の新設・増設に伴 い、側面から支援する。	そつぎょうしかく あつか かん けん れ 卒業資格の扱いに関し、県と連 携し国への働きかけ	がいこくじん 外国人 がっこう ぎよ 学校・行 政
		がいこくじんがっこう ちいき がっこう 外国人学校と地域の学校の 交流	がいこくじんがっこう ちいき がっこう こう 外国人学校と地域の学校の交 流の拡大が望まれる。	がいこくじんがっこう ちいき がっこう じど 外国人学校と地域の学校の児 童・生徒・教師・保護者の交流の 機会を一層充実させる。	がいこくじんがっこう ちいき がっこう そう 外国人学校と地域の学校の相 互の関心の高まり	がいこくじんがっ 外国人学 校・地域の 学校
		がいこくじんがっこう ちいき こうりゅう 外国人学校と地域の交流	がいこくじんがっこう ちいき む ipp 外国人学校が地域に向けて一 層開かれることが望まれる。	がいこくじんがっこう しせつ ぎょうじ ごかく 外国人学校の施設や行事(語学 教室実施等)を地域住民に一層 開放する。	がいこくじんがっこう ちいきじゅうみん そうご 外国人学校と地域住民の相互 の関心の高まり	がいこくじんがっ 外国人学 校・地域住 民
		しゅうろう ③就 労	しゅうろうそうだん たげんごたいおう 就労相談の多言語対応	にほんご はな しゅうろうそうだん 日本語が話せないと就労相談 を受ける機会を十分に得られ ない。	はろーわーくとう あつせんそしき たい ハローワーク等の斡旋組織に対 して多言語対応を促す。	ぎょうせい はろーわーくとう 行政、YOKE、ハローワーク等 の連携

こゝもく 項目	とりぐみ 取組	げんじょう 現状	こんご すず かた 今後の進め方	じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等	しゅたい 主体	
だいぶ 第1部(2) せいかつしえん 生活支援	③就労	がいこくじん ろうどうかんきょう こうじょう 外国人の労働環境の向上	てきせい ろうどうかんきょう じゅうぶん まも 適正な労働環境が十分に守ら れていない場合もある。	がいこくじんろうどうしや こうよう ろうどうじょうけん 外国人労働者の雇用・労働条件 についての啓発等に努める。	ぎょうせい きぎょう れんけい 行政と企業の連携	ぎょうせい み 行政・民 かん 間
		がいこくじん こうよう 外国人を雇用しようとする企業 で雇用条件の説明や就職相談 が十分とは言えない。	きぎょうない がいこくじんこうようたんどうまどぐち 企業内に外国人雇用担当窓口 を設置する。	きぎょう どりよく 企業の努力	みんかん こう 民間・公 えき 益	
		しゅうろう ろうどうそうだん じっし 就労・労働相談の実施	しごと み ようい 仕事を見つけるのが容易では ない。どこに行けばよいのかも 分かりにくい。	がいこくじんせんもんそうだんかいとう きかい 外国人専門相談会等の機会を 活用して就労・労働相談を行う。	はろーわーく つうやくぼらんていあ ハローワーク・通訳ボランティア 等との連携	こうえき ら 公益・フ うんじ ウンジ
		りゅうがくせい しゅうしよくかつどうしえん 留学生の就職活動支援	にほんじんがくせい ひかく しゅうしよく 日本人学生と比較すると就職 活動が円滑に進まない。	りゅうがくせい たいしゅう しゅうしよくせつめいかい 留学生を対象とする就職説明会 や就職面接会を開催する。	けいざいだんたい れんけい 経済団体との連携	けいざいだ 経済団 んたいこうえき 体・公益
だいぶ 第1部(2) せいかつしえん 生活支援	④医療・保 けん ふくし 健・福祉	わか りやすい情報提供	ほけん ねんきん にほんじん 保険や年金は日本人にとって も複雑だが、外国人にはさらに 理解が難しい。	ふくしせいどあんない せいかつがいどぶつ 福祉制度案内や生活ガイドブッ ク等を分かりやすくする。	こうれい がいこくじんしみん わ 高齢の外国人市民にも分かり やすい情報提供	ぎょうせい 行政
		いりょうほけん ねんきん せいどかいぜん 医療保険や年金の制度改善 に向けた国への働きかけ	げんざい せいど かにゅう 現在の制度では加入できない 外国人が多い。	たじちたい れんけい がいこくじん 他自治体とも連携して、外国人 市民が加入できる制度となるよう 国へ働きかける。	たじちたい れんけい 他自治体との連携	ぎょうせい 行政
		こうしゅうえいせい かん ただ ちしき 公衆衛生に関する正しい知識 の普及	ただ ちしき がいこくじんしみん つた 正しい知識が外国人市民に伝 わるのに時間がかかることが 多い。	かんせんしゅうじょうほう こうしゅうえいせい かん 感染症情報など、公衆衛生に関 する知識の普及を図る。	わ 分かりやすい説明資料の作成	ぎょうせい 行政
		いしかい し かいしかいとう じよ 医師会・歯科医師会等との情 報交換	がいこくじんしみん いりょう げんじょうとう 外国人市民の医療の現状等に ついて、より深い理解を求め ることが望まれる。	しれべる くれべる ていきてき 市レベル、区レベルで定期的な 情報交換会の中でテーマとして 取り上げる。	いし しかいし りかいしんとう 医師・歯科医師への理解浸透	ぎょうせい い 行政・医 りょうきかん 療機関

こうもく 項目	とりぐみ 取組	げんじょう 現状	こんご すず かた 今後の進め方	じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等	しゅたい 主体	
だいぶ 第1部(2) せいかつしえん 生活支援	④ いりょう ほ 医療・保 けん ふくし 健・福祉	きゅうきゅうかつどうじ い し そつう はか 救急活動時の意思疎通	きゅうきゅうしやない たこくごきゅうきゅうたいおうかーど 救急車内に多言語救急対応カー ドを常備する。	がいこくごきゅうきゅうたいおうかーど こく (外国語救急対応カード(15か国 語)の配備済み)	ぎょうせい 行政	
		いりょう ふくしぶんや つうやくぼらんてい 医療・福祉分野の通訳ボラン ティアの育成と派遣	いっばん しみんつうやくぼらんてい あ 一般の市民通訳ボランティアで は医療や福祉の分野に対応で きない場合が多い。	ぼらんてい あ いりょう ふくしぶんや ボランティアの医療・福祉分野の のうりよく たか はげん いく 能力を高め、派遣できるように育 成する。	いりょう ふくしぶんや せんもんけんしゅう 医療・福祉分野の専門研修に よる人材の育成	こうえき しみ 公益・市 民
		④ いりょう ほ 医療・保 けん ふくし 健・福祉	ちいき ふくし にな て がいこくじん 地域の福祉の担い手に外国人 民生委員・児童委員への研修 対応について、より深く理解し てもらふことが望まれる。	みんせいいいん じどういいん がいこくじん た 民生委員・児童委員に外国人対 応に関する研修を実施する。	みんせいいいん・じどういいん れんけい 民生委員・児童委員との連携	ぎょうせいし 行政・市 民 公益
		いりょうきかんうけつけ たげんご か 医療機関受付の多言語化	がいこくじんたいおう そうてい うけつけ 外国人対応を想定した受付を もう いりょうきかん ぞうか 設けている医療機関の増加が 望まれる。	たげんごまに ゆ ある もんしんひょう じよ 多言語マニュアルや問診票を常 備する。	いりょうきかん れんけい 医療機関との連携	いりょうきか 医療機 関
		いりょうきかん いりょうつうやく かく 医療機関での医療通訳の確 保	いりょうつうやく いりょうこうい 医療通訳は医療行為のため、 いっばん ぼらんてい あ たいおう 一般のボランティアでは対応が むずか 難しい。	いりょうつうやく いりょうこうい いっかん 医療通訳は医療行為の一環とし て受け止め、医療機関の責任で つうやく かくほ 通訳を確保する。	てきせつ つうやく いくせい 適切な通訳の育成	いりょうきか 医療機 関・市民
	⑤ ぼう さい 防 災	さいがいじ つうやく かくほ 災害時の通訳の確保	はっさいじ じちたいそうご つうやく 発災時の自治体相互の通訳の きょうりょくはけんたいせい かくりつ のぞ 協力派遣体制の確立が望まれ る。	じぜん つうやく そうごはけんしす てむ 事前に通訳の相互派遣システム を構築する。	りんせつじちたいかん そうごきょうてい 隣接自治体間の相互協定から けんとう 検討	ぎょうせいこう 行政・公 益
		たげんご ぼうさいじょうほう ていきょう 多言語の防災情報の提供	ぼうさいまっぶ ぼうさいが いどぶつく 防災マップや防災ガイドブック とう にほんごばん ばあい 等は、日本語版のみの場合が おほ 多い。	たげんごぼうさいまっぶとう さくせい は 多言語防災マップ等を作成・配 いふ 布する。	ぼうさいまっぶとう ゆうせんじゆんいつ 防災マップ等の優先順位付け	ぎょうせいこう 行政・公 益
		きんきゅうじょうほうとう じんそく はっしん 緊急情報等の迅速な発信	きんきゅうじょうほうとう ていきょう にほんご 緊急情報等の提供は、日本語 のみの場合が多い。	きんきゅうじょうほうとう たげんご はっしん 緊急情報等を多言語で発信す る。	おほ えすにつくめでいあ もうら 多くのエスニックメディアの網羅	ぎょうせいこう 行政・公 益・放送機 関

こうもく 項目	とり組み 取組	げんじょう 現状	こんご すす かつ 今後の進め方	じつげん む かつだいてう 実現に向けての課題等	しゅたい 主体	
だいぶ 第1部(2) せいかつしえん 生活支援	⑤ ぼう さい 防 災	さいがい む がいこくじんしえんぐるー 災害に向けた外国人支援グ ループ等との連携	さいがいじ がいこくじんしえん たいせいせ 災害時の外国人支援の体制整 備が望まれる。	がいこくじんしえんれんけいたいせい かくりつ 外国人支援連携体制を確立す る。	がいこくじんしえんぐるー ぶ ぎょうりよく 外国人支援グループの協力	こうえき しみ 公益・市 民・行政
		ちいき ぼうさいくねん がいこくじん 地域の防災訓練への外国人 の参加	ちいき ぼうさいくねん がいこくじん さん 地域の防災訓練へ外国人の参 加を増やすことが望まれる。	たげんご ぼうさいくねん あんない 多言語により防災訓練の案内を 出し、参加を促す。	ぼうさいきよてん がっこう れんけい 防災拠点である学校との連携 地域の外国人の事前把握 分かりやすい案内と声かけ	しみん こう 市民・公 益・行政
		わか やすい こうきょうさいん せつ 分かりやすい公共サインの設 置	たげんご ひょうきぶぶん わ 多言語表記部分が分かりにく いものもある。	よこはましこうきょうさいんがいでら 横浜市公共サインガイドライン (H15.8.1)に沿ったサインの設置 を進める。	がいでら しゅうちてつてい てんけん ガイドラインの周知徹底と点検 道路名称付与の推進	ぎょうせい こう 行政・公 益団体
		さいん たげんご ほんやく サインの多言語への翻訳	ひょうじゆんてき やくご わか た 標準的な訳語が分からず、多 言語化が進まないことが多い。	ひょうじゆんやくごしゅう かいてい ほーむ ペー じ 標準訳語集を改訂しホームペー ジ等で発信する。	ひょうじゆんやくごしゅう てきせつ かいてい しゅ 標準訳語集の適切な改訂・周 知	こうえき 公益
	⑥ あんない ひょうじ 案内・表示	みんかんしせつ おくないがい さいん 民間施設の屋内外のサインの 工夫	こうつうきかん ほてる かくしゆてんぼ 交通機関、ホテル、各種店舗、 文化施設等の表示が外国人に 分かりにくい場合がある。	み しよたい え も じ びくとぐらむ 見やすい書体や絵文字(ピクトグ ラム)の利用を推進する。	しんちく かいしゅうじ せつきよてき せつち 新築・改修時の積極的な設置	みんかん ぎよ 民間・行 政
		こえ か みちあんない 声掛けによる道案内	こま がいこくじん み 困っている外国人を見かけた ときに声を掛ける市民の増加が 望まれる。	こま がいこくじん こえ か 困っている外国人に声を掛ける というホスピタリティを養う。	こえ か かがりよく よう 声を掛けるための語学力の養 成	しみん 市民
	さいん にーず ちようさ サインのニーズ調査	がいこくじん さいん かん いけん 外国人のサインに関する意見 の把握が難しい。	がいこくじんこみゆにてい さいん かん 外国人コミュニティがサインに関 する意見を把握し行政や企業に 提案する。	がいこくじんこみゆにてい ぎょうせい きぎよ 外国人コミュニティと行政や企 業との連携	がいこくじんこ 外国人コ ミュニティ	
だいぶ 第1部(3) たぶんかきょうせい 多文化共生の ちいき 地域づくり	① こうりゅうそうごり 交流・相互理 解・日常の地域 の支えあい	たぶんかきょうせい たい いしき いてつ 多文化共生に対する意識を一 層高める必要がある。	たぶんかきょうせい む じぎょう く 多文化共生に向けた事業を区や 地域単位で実施する。	けいぞくてき けいはつじぎょう じっし 継続的な啓発事業の実施	ぎょうせい こう 行政・公 益	

こうもく 項目	とりぐみ 取組	げんじょう 現状	こんご すず かた 今後の進め方	じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等	しゅたい 主体	
<p>だいぶ 第1部(3) たぶんかきょうせい 多文化共生 ちいき 地域のづくり</p>	<p>①交流・相互 りかい にちじょう 理解・日常の ちいき さき 地域の支え あい</p>	<p>がいこくじん じんけん かん けいはつ 外国人の人権に関する啓発</p>	<p>がいこくじん たい さべつてき たいおう 外国人に対して差別的に対応 する場合が見られる。</p>	<p>じんけんこうえんかい くみん けい 人権講演会、区民まつりでの啓 発等、区民を対象とした人権啓 発イベントを実施する。</p>	<p>てきせつ てーま こうし せんてい 適切なテーマ・講師の選定 けいぞく けいはつぎょう じっし 継続した啓発事業の実施</p>	<p>ぎょうせい 行政</p>
		<p>じち かい ちょうないかいせいど あんない 自治会・町内会制度の案内</p>	<p>がいこくじん じち かい ちょうないかいせい 外国人には自治会・町内会制 度の理解が難しいと考えられ る。</p>	<p>たげんご にほんご 多言語や分かりやすい日本語で 案内を作成し配布する。</p>	<p>そしきか な 組織化されることに慣れていな い外国人への対応</p>	<p>こうえき しみ 市民</p>
		<p>がいこくじんがっこう しないがっこう こう 外国人学校と市内学校との交 流</p>	<p>じどう せいと こうりゅう ば ふ 児童・生徒の交流の場を増や すことが望まれる。</p>	<p>じどう せいと かてい そうご ほーむ 児童・生徒の家庭に相互にホー ムステイするなど交流を図る。</p>	<p>がいこくじんしえん しみ YOKEや外国人支援NPO・市 民の協力</p>	<p>こうえき がいこく 市民・外国 じんがっこう 人学校・ NPO</p>
		<p>がいこくじんしゃいん ちいき こうりゅう 外国人社員と地域との交流</p>	<p>がいこくじんしゃいん ちいき じゅうみん こう 外国人社員と地域住民との交 流機会を増やすことが望まれ る。</p>	<p>ぎょうせい ちいき れんけい きょうどうこくさい 行政・地域と連携した共同国際 イベント等の交流イベントを実施 する。</p>	<p>きぎょう ぎょうせい ちいき れんけいほうほう 企業・行政・地域の連携方法</p>	<p>みんかん しみ 民間・市 民・行政</p>
		<p>がいこくじん ちいきぎょうじ さんか 外国人の地域行事への参加</p>	<p>がいこくじん ちいきぎょうじ さんか 外国人と地域住民の身近な交 流機会を増やすことが望まれ る。</p>	<p>かいさいあんない たげんご か 開催案内を多言語化するなど、 交流機会を拡大する。</p>	<p>がいこくじん みりょく いべんと 外国人にも魅力あるイベントづ くり</p>	<p>しみん 市民</p>
		<p>りゅうがくせい けんきゅうしゃ かぞく たい 留学生・研究者の家族に対す る支援</p>	<p>りゅうがくせい けんきゅうしゃ らいにち 留学生・研究者とともに来日す る家族がサポートも無く孤立し ている場合がある。</p>	<p>う い きかん れんけい NPOや受け入れ機関と連携して 家族を支える市民のボランティア 活動を活性化させる。</p>	<p>う い きかん れんけい NPOや受け入れ機関との連携 市民への啓発</p>	<p>こうえきしみん 市民・公 益・受け 入れ機関</p>
		<p>じち かい・ちょうないかい がいこく 自治会・町内会としての外国 人対応の検討</p>	<p>じち かい・ちょうないかい がいこくじん 自治会・町内会の外国人への 対応が求められている。</p>	<p>じち かい ちょうないかい がいこくじん 自治会・町内会とともに外国人 対応についての検討を進める。</p>	<p>とう れんけい YOKE等との連携</p>	<p>しみん こう 市民・公 益</p>
		<p>にほんりかい どりょく 日本理解の努力</p>	<p>がいこくじんこみゆにていみずかにほん 外国人コミュニティ自ら日本を 理解しようとする試みが求めら れている。</p>	<p>えすにつくこみゆにてい エスニックコミュニティによる日 本理解講座など外国人がより深 く日本を知るような場をつくる。</p>	<p>こうざじっし しえんたいせいやくりつ 講座実施の支援体制確立</p>	<p>がいこくじんこ 外国人コ ミュニティ</p>

こもく 項目	とりぐみ 取組	げんじょう 現状	こんご すず かた 今後の進め方	じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等	しゅたい 主体	
だいぶ 第1部(3) たぶんかきょうせい 多文化共生 ちいき の地域づくり	がいこくじんしみ ②外国人市 民の自立と しゃかいさんかく 社会参画	がいこくじんしみん じりつしえん 外国人市民の自立支援	がいこくじん じりつ しえん 外国人が自立できるように支援 することが大切である。	がいこくじんしえん にかか じぎょう 外国人支援に係る事業について しみんだんたい れんけい じぎょう しく 市民団体と連携して事業の仕組 みや場づくりを行う。	しみんだんたい ぼらんてい あ れん 市民団体・ボランティアとの連 携方法	ぎょうせいしみ 行政・市 民・公益
	がいこくじんしみ ②外国人市 民の自立と しゃかいさんかく 社会参画	しんぎかいとう がいこくじんしみん 審議会等への外国人市民の さんか 参加	がいこくじんしみん さんか すず 外国人市民の参加が進んでい るとは言えない。	しんぎかい もに たー ちようさとう せつ 審議会、モニター、調査等で積 きよくてき さんか すいしん 極的に参加を推進する。	がいこくじんしみん せんていほうほう 外国人市民の選定方法 さんかすいしんほうほう けんとう 参加推進方法の検討	ぎょうせい 行政
	がいこくじんしみ ②外国人市 民の自立と しゃかいさんかく 社会参画	じじよぼらんてい あ かつどう 自助ボランティアとして活動す る外国人の支援	ぼらんてい あいよく がいこくじん ボランティア意欲のある外国人 ちいき じじよぼらんてい あ か 地域で自助ボランティアとして活 動する外国人に対して様々な テーマについて研修を行う。	ちいき じじよぼらんてい あ か 地域で自助ボランティアとして活 動する外国人に対して様々な テーマについて研修を行う。	てきせつ てーま こうし せんてい 適切なテーマ・講師の選定	こうえき 公益
だいぶ 第2部(1) こくさいせいゆた 国際性豊かな なまちづくり を担う人材 育成	えいごきょういく ①英語教育	じつせんてき えいごきょういく 実践的な英語教育	ちゅうがっこう えいごきょういく 中学校の英語教育において、 じつせんてき こみゆにけーしょんのう 実践的なコミュニケーション能 力の育成をねらいとしている。	しょうがっこうとう そうき じつせんてきえい 小学校等早期からの実践的英 語教育(コミュニケーション力を養 う教育)を推進する。	えいごきょういく かん びじょん かくりつ 英語教育に関するビジョン確立 えいごきょういく きょうざい さくせい 英語教育の教材の作成 えいごきょういく にな じんざい いくせい 英語教育を担う人材の育成	ぎょうせい 行政
		えいごきょうざい じんざい たい しえ 英語教材や人材に対する支 援	えいごきょういく おこな きょうざい じんざい 英語教育を行う教材や人材 が、より一層必要となっている。	えいごきょうざい さくせい きょうりよく 英語教材の作成に協力すると もに、語学ボランティアの登録・ 研修・派遣を行う。	きょうざい じんざい すいじゆん い じ 教材や人材の水準の維持	こうえき しみ 公益・市 民
		きぎょうない えいごきょういく 企業内英語教育	きぎょうない ごかく じんざい 企業内に語学のできる人材が 不足している。また、語学ので きる人材の採用が難しい。	がいこくじんしやいん ごかくりよく 外国人社員や語学力のある社 員が指導者となって業務に役立 つ英語教育を実施する。	てきせつ しどうしや せんてい 適切な指導者の選定	みんかん 民間
		がいしけいきぎょう ぎょうむたいけん 外資系企業での業務体験	がくせい がいしけいきぎょう ぎょうむたいけん 学生が外資系企業で業務体験 する機会を増やすことが望まれ る。	がいしけいきぎょう がくせい ぎょうむ た 外資系企業が学生に業務を体 験しながら語学研修できる機会 を提供する。	がいしけいきぎょう きょうりよく 外資系企業の協力	みんかん しみ 民間・市 民
		がいこくじんきぎょうじんとう こうえんかい 外国人企業人等による講演会	がっこう えいご ひつようせい かん 学校で英語の必要性を感じる 機会を増やすことが望まれる。	がいこくじんきぎょうじん がいしけいきぎょうしやいん 外国人企業人や外資系企業社 員による講演会を学校で開催す る。	てきせつ こうえんしや せんてい 適切な講演者の選定	みんかん しみ 民間・市 民・行政

<p>こうもく 項目</p>	<p>とり組み 取組</p>	<p>げんじょう 現状</p>	<p>こんご すす かた 今後の進め方</p>	<p>じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等</p>	<p>しゅたい 主体</p>	
<p>だいぶ 第2部(1) こくさいせいゆた 国際性豊かな なまちづくり を担う人材 の育成</p>	<p>①英語教育</p>	<p>にちじょう じしゆてき えいごしゅうとく 日常の自主的な英語習得</p>	<p>しみん えいごひつようせい かん に 市民の英語必要性に関する認 識が十分とは言えず、語学力 向上が望まれる。</p>	<p>てれび らじおとう みちか ばいたい テレビやラジオ等の身近な媒体 を利用した自主的な英語学習を おこな 行う。</p>	<p>がくしゅう じっせん ば 学習にあたっての実践の場の 不足</p>	<p>しみん 市民</p>
	<p>②多言語 教育</p>	<p>がっこう たげんごきょうい 学校における多言語教育</p>	<p>がっこうきょうい かりきゅらむ く 学校教育のカリキュラムに組み 込むことが難しい。</p>	<p>えいごがい げんご まな きかい もう 英語以外の言語も学ぶ機会を設 けるよう努める。</p>	<p>たげんごきょうい じょうしや かくほ 多言語教育指導者の確保</p>	<p>ぎょうせい しみん 行政・市民・公益</p>
	<p>②多言語 教育</p>	<p>たげんごきょうい ば ていきょう 多言語教室の場の提供</p>	<p>たげんごきょうい かいさい ひつよう ばしょ 多言語教室開催に必要な場所 の確保が難しい。</p>	<p>くやくしよ かいぎしつ がっこう よゆう 区役所の会議室や学校の余裕 教室等を活用する。</p>	<p>くやくしよ しょうちゅうがっこう れんけい 区役所や小中学校との連携</p>	<p>しみん ぎょうせい 市民・行政</p>
	<p>②多言語 教育</p>	<p>こがくがっこう おし こがく げんてい 語学学校で教える語学は限定 されている。</p>	<p>こがくがっこう 語学学校において、できるだけ 多くの言語の教育を行う。</p>	<p>おお げんご きょうい おこな 多くの言語の教育を行う。</p>	<p>じょう じんざい かくほ 指導できる人材の確保</p>	<p>みんかん しみん 民間・市民</p>
	<p>②多言語 教育</p>	<p>たげんごきょうい じょうしや かくほ 多言語教育指導者の確保</p>	<p>えいごがい げんご 英語以外の言語については、 指導者が多いとは言えない。</p>	<p>ぼらんてい あ ぼしゅう ようせい ボランティアを募集し要請のある 小中学校等へ派遣する。</p>	<p>こがくりよく がいこくじんしみん がい 語学力のある外国人市民、外 国滞在経験者、企業退職者等 の協力を得る工夫</p>	<p>こうえき しみん 公益・市民</p>
	<p>③国際感 覚の醸成</p>	<p>しょうちゅうがっこう たぶん かりか いきよ 小中学校での多文化理解教 室の充実</p>	<p>こくさいかんかく み つ 国際感覚を身に付けられるよう な授業を一層充実させる必要 がある。</p>	<p>がいこくじんきぎょうじん がいけい きぎょうしやいん りゆ 外国人企業人・外資系企業社員・留 学生・外国人市民を講師とし、海外 諸国等に関する授業を充実させる。</p>	<p>じゆぎょう おこな こうし がっこう れんけい 授業を行う講師と学校との連携 の方法</p>	<p>ぎょうせい しみん 行政・市民・公益</p>
	<p>③国際感 覚の醸成</p>	<p>きょうしよくいん たい がいこくじん じん 教職員に対する外国人の人 権・多文化共生に関する研修 の実施</p>	<p>けんしゅう じゅうじつ のぞ 研修の充実が望まれる。</p>	<p>しょうちゅうがっこう きょうしよくいん たい け 小中学校での教職員に対する研 修を充実させる。</p>	<p>てきせつ こうし せんてい 適切な講師の選定 繰り返し実施の必要性</p>	<p>ぎょうせい 行政</p>
	<p>③国際感 覚の醸成</p>	<p>ようじき たぶんかきょうせい きょうい ぼ 幼児期の多文化共生教育(保 育)</p>	<p>ようじき はや だんかい がいこくじん 幼児期の早い段階で外国人と 触れ合う機会は、あまり多くな い。</p>	<p>ようじき はや だんかい たぶんかきょうせい 幼児期の早い段階で多文化共 生教育(保育)を実施する。</p>	<p>てきせつ じょうしや ふそく 適切な指導者の不足 ボランティア等の協力</p>	<p>こうえき ぎょうせい 公益・行政</p>

こうもく 項目	とり組み 取組	げんじょう 現状	こんご すす かた 今後の進め方	じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等	しゅたい 主体	
だいぶ 第2部(1) こくさいせいゆた 国際性豊かな なまちづくり を担う人材 育成	③国際感覚 の醸成	せかい まな きかい てい 世界について学ぶ機会の提 供	しみん せかい まな きかい 市民が世界について学ぶ機会 の充実が望まれる。	こくさいてき こうしゅうかい いべんと 国際的な講習会やイベントなど、 市民が世界について学ぶ機会を 提供する。	こくさいこうりゅうぐるーぷ がいかい 国際交流グループが開催する 国際的な講習会・イベント等と の連携	こうえき しみ 公益・市 民
		しな いこくさいきかん どう かつ 市内国際機関・NPO等の活 動紹介	しな いこくさいきかん どう かつ 市内国際機関・NPO等の活動 について市民にあまり知られて いない。	しな いこくさいきかん どう かつ 市内国際機関・NPO等の活動 紹介等を通じた学習機会を提供 する。	しな いこくさいきかん どう 市内国際機関・NPO等との連 携	こうえき しみ 公益・市 民
		びじねす ぶれぜんてーしよん ビジネスにおけるプレゼンテー ション能力を高める研修	がいこくじん たいとう いけんこうかん 外国人と対等に意見交換する 能力が十分とは言えない。	ごがくりよく ぶれぜんてーしよん 語学力とともにプレゼンテーショ ン能力を高める社内研修を実施 する。	てきせつ しどうしゃ ふそく 適切な指導者の不足	みんかん 民間
		しみん たぶんか ふ きか 市民は多様な文化に触れる機 会があまり多くないので、認識 力が十分とは言えない。	しみん たぶんか にんしき 市民は多様な文化に触れる機 会があまり多くないので、認識 力が十分とは言えない。	たぶんか にんしき じゅんび にちじよ 多文化認識の準備として、日常 的に日本文化や地域を知るよう 努力する。	てきせつ がくしゅうほうほう ふそく 適切な学習方法の不足	しみん 市民
だいぶ 第2部(2) かつどう 活動しやすい 環境	①ビジネス上 の環境整備	がいしけいきぎょう すす 外資系企業誘致の推進	がいしけいきぎょう しんしゅつ か 外資系企業が進出しやすい環 境が必要である。	ぜいせいとうゆうくろ うち すたーとあつ 税制等優遇措置やスタートアッ プ施設の一層の周知・活用を図 る。	きぎょう みりょく 企業にとって魅力あるまちづく り	ぎょうせい み 行政・民 間
		がいしけいきぎょう ネットワーク 外資系企業のネットワークの 強化	がいしけいきぎょう どうし れんけいきょうか 外資系企業同士の連携強化が 望まれる。	がいしけいきぎょう だいひょうしゃ たい 外資系企業代表者等による定期 的懇談会等を開催する。	ないよう ふか かいぎ も かつ 内容の深い会議の持ち方	みんかん 民間
		しんきしんしゅつ がいしけいきぎょう じんざい 新規進出外資系企業の人材 確保の支援	がいこくご はな じんざい かくほ 外国語を話せる人材の確保が 容易でなくコストがかかる。	しな い じんざいさいよう のう ほう 市内での人材採用のノウハウや 外国語のできる人材を紹介す る。	がいこくご じんざいじょうほう しゅ 外国語のできる人材情報の収 集	こうえき ぎよ 公益・行 政・市民
		くにこうりょうり ②空港利用利 便性の向上	あじあしよとし こうりゅう なり アジア諸都市との交流には、成 田空港ではアクセスがよくな い。	はねだくこう こくさいせんしゅうこう 羽田空港からの国際線就航範 囲拡大について国に働きかけて いく。	はねだくこう こくさいせんしゅうこう 羽田空港からの国際線就航範 囲拡大に向けた世論形成	ぎょうせい 行政

<p>こうもく 項目</p>	<p>とりぐみ 取組</p>	<p>げんじょう 現状</p>	<p>こんご すす かつ 今後の進め方</p>	<p>じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等</p>	<p>しゅたい 主体</p>	
<p>だいぶ 第2部(2) かつどう 活動しやすい かんきょう 環境</p>	<p>くこうりょう ②空港利用 りべんせい こう 利便性の向 じょう 上</p>	<p>くこう しがいち あくせす 空港から市街地へのアクセス が十分とは言えない。</p>	<p>あくせすこうじょう てつどう えき アクセス向上のため、鉄道や駅 改善の取組を推進する。</p>	<p>かんけいきかんとう れんけい 関係機関等の連携</p>	<p>みんかん ぎよ 民間・行 うせい 政</p>	
		<p>りむじんばす てつどう きーびす リムジンバス・鉄道のサービス きめ細かい対応が求められる。</p>	<p>りむじんばす るーと かくじゅう いど リムジンバスのルートの拡充、移 動しやすいバリアフリーの駅づく りを進める。</p>	<p>かんけいきかんとう れんけい 関係機関等の連携</p>	<p>みんかん 民間</p>	
		<p>びじたー たい たげんごじょうほう ビジターに対する多言語情報 の提供</p>	<p>くこう あくせすまっぷごとう た 空港へのアクセスマップ等の多 言語化が必要とされている。</p>	<p>あくせすまっぷごとう たげんごか アクセスマップ等の多言語化を すす 進める。</p>	<p>こうつうきかんとう れんけい 交通機関等との連携</p>	<p>こうえき み 公益・民 かん 間</p>
	<p>けいかん しぜん ③景観・自然 かんきょう 環境</p>	<p>ごみ りさいくる げんりょうか ゴミのリサイクルによる減量化 すす 進んでいる。</p>	<p>ごみ ぶんべつしゅうしゅう じゅんちよう ゴミの分別収集・G30は順調に すす 進んでいる。</p>	<p>しゅうち てつてい さらにG30周知を徹底するた め、広報や講演会を実施する。</p>	<p>しょうえねるぎーこうどう か さらなる省エネルギー行動や環 境負荷を少なくするライフスタ イルへの転換</p>	<p>ぎょうせい 行政</p>
	<p>みどり しぜんかんきょう ほぜん 緑や自然環境の保全</p>	<p>こくさいとし じゅうよう しょうそ 国際都市にとって重要な要素 である緑や自然環境が減少し ている。</p>	<p>りよくちほぜん りよつかせさく じゅうじつ 緑地保全・緑化施策を充実さ せ、市民協働による緑施策を推 進する。</p>	<p>みどり そうりょう い じこうじょう 緑の総量の維持向上</p>	<p>ぎょうせい こう 行政・公 えきだんたい 益団体・ しみん 市民</p>	
	<p>しぜんかんきょうほご かん たげん 自然環境保護に関する多言 ごじょうほう 語情報</p>	<p>しぜんかんきょうほご かん たげんご 自然環境保護に関する多言語 じょうほう すく 情報が少ない。</p>	<p>しぜんかんきょうほご ひつようせい うた 自然環境保護の必要性を訴える たげんごじょうほう はっしん 多言語情報を発信する。</p>	<p>かんきょうほごだんたいとう れんけい 環境保護団体等との連携</p>	<p>こうえき 公益</p>	
<p>けいかん 景観のさらなる向上</p>	<p>しゅうしゅうまえ ごみ ぼいす す 収集前のゴミやポイ捨ての吸 いごら けいかん そこ 殻などが景観を損ねている。</p>	<p>ごみだし るーと てつてい せいそう ゴミ出しのルールを徹底し清掃 かつどう すいしん 活動を推進する。</p>	<p>かんこうち ごみしゅうしゅうじかん けんとう 観光地のゴミ収集時間の検討</p>	<p>みんかん しみ 民間・市 ん ぎょうせい 民・行政</p>		
<p>だいぶ 第2部(3) がいこしん ひ 外国人を惹きつ ける魅力づくり</p>	<p>とし ①都市 いめーじ イメージの こうじょう 向上</p>	<p>よこはま としいめーじ ちめいど 横浜の都市イメージ・知名度 は、まだ低い。(東京の隣接都 市という説明が多い。)</p>	<p>ぶんかげいじつつ けいさいしんこう 文化芸術、経済振興、まちづくり 等の総合的な施策を推進する。</p>	<p>よこはま わーどぶらんどか ひ 横浜のワールドブランド化が必 つよう 要</p>	<p>ぎょうせい 行政</p>	

こうもく 項目	とりぐみ 取組	げんじょう 現状	こんご すす かつ 今後の進め方	じつげん む くだいとう 実現に向けての課題等	しゅたい 主体	
だいぶ 第2部(3) がいこくじん ひ 外国人を惹 きつける魅 力づくり	①都市 イメージの 向上	こくさいとし みりょくあびーる 国際都市としての魅力アピ ール	よこはま こくさいきかん しゅうせきとう 横浜への国際機関の集積等、 こくさいとし みりょく 国際都市の魅力についてあま り知られていない。	ほーむべーじとう かいがいむ ばいたい ホームページ等の海外向け媒体 を活用して国際都市横浜の魅力 をアピールする。	こくさいきかんと れんけい 国際機関等との連携など	ぎょうせい 行政
	よこはま みりょく しょうかい じょうほう 横浜の魅力を紹介する情報	よこはま みりょく かん じょうほう か 横浜の魅力に関する情報が海 外に効果的に発信されていな い。	よこはま みりょく しょうかい えいぞう い 横浜の魅力を紹介する映像や印 刷物を作成する。	たげんご はっしん ひつよう 多言語での発信が必要	こうえきだん 公益団 体	
	がいこくじんかんこうきやく よこはま ゆう 外国人観光客の横浜への誘 致	にほん おとず がいこくじんかんこうきやく 日本を訪れる外国人観光客の うち横浜を訪れる人の割合は まだ少ない。	よこはま かんこうこーす も こ 横浜の観光コースを盛り込んだ ツアー等を企画する。	みりょく かんこうこーす せつてい 魅力ある観光コースの設定	みんかん こう 民間・公 益	
だいぶ 第2部(3) がいこくじん ひ 外国人を惹 きつける魅 力づくり	②地域の 歴史の 再確認	よこはま れきし かん じょうほうて 横浜の歴史に関する情報提 供	よこはま れきし みりょく はっしん かなら 横浜の歴史の魅力の発信が必 ずしも十分とは言えない。	よこはま れきし しょうかい いんさつぶつ 横浜の歴史を紹介する印刷物・ ホームページ・セミナー等によ り、情報提供を進める。	たげんご せつち はっこう ひつよう 多言語での設置・発行が必要	ぎょうせい み 行政・民 間
	よこはま れきし い 横浜の歴史を生かしたまちづ くり	よこはま すぐ れきしてきけんぞうぶつ 横浜の優れた歴史的建造物が 取り壊される恐れがある。	れきしてきけんぞうぶつ にんていせいどう 歴史的建造物の認定制度等に より歴史を生かしたまちづくりを 推進する。	けんぞうぶつ しょうしゅしゃ きょうりよく 建造物の所有者の協力	ぎょうせい し 行政・市 民	
	がいこくじんしゃいん たい よこはま 外国人社員に対する横浜の 歴史の紹介	よこはま れきし ちしき とほ 横浜の歴史について知識が乏 しい外国人社員が多いと考えら れる。	がいこくじんしゃいん たい よこはま れきし 外国人社員に対して横浜の歴史 を紹介する。	てきせつ しどうしゃ かくほ 適切な指導者の確保	みんかん ぎよ 民間・行 政	
	よこはま れきし たいせつ いべん 横浜の歴史を大切にするイベ ント	がいこくじんしみん よこはま れきし し 外国人市民が横浜の歴史を知 る機会を増やすことが望まれ る。	がいこくじんしみん さんか よこはまれき 外国人市民も参加できる横浜歴 史イベントを開催する。	ちいきじゅうみん がいこくじんしみん きょうりよく 地域住民と外国人市民の協力	しみん こう 市民・公 益	
③横浜らしい 文化の醸成	ぶんかげいじゆつ そうぞうとし 文化芸術による創造都市づく り	ぶんかげいじゆつ しんこう とし 文化芸術の振興による都市の 活性化が求められている。	ぶんかげいじゆつ しんこう すす かんこう 文化芸術の振興を進め、観光・ 産業など横浜の魅力を創造する 総合的な政策を展開する。	かいがい ぶんかげいじゆつとし こうりゅう 海外の文化芸術都市との交流	ぎょうせい 行政	

<p>こうもく 項目</p>	<p>とりぐみ 取組</p>	<p>げんじょう 現状</p>	<p>こんご すす かた 今後の進め方</p>	<p>じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等</p>	<p>しゅたい 主体</p>	
<p>だいぶ 第2部(3) がいこくじん ひ 外国人を惹 きつける魅 力づくり</p>	<p>③横浜らしい ぶんか じょうせい 文化の醸成</p>	<p>きぎょう ぶんか ぶんか ぶんか 企業による文化振興活動</p>	<p>きぎょう し ぶんか ぶんか 企業も市の文化振興に関心を も持っている。</p>	<p>ぶんか ぶんか ぶんか 文化振興のスポンサー、企画者 として活動する。</p>	<p>ぎょうせい ぶんか ぶんか 行政や文化振興団体との連携</p>	<p>みんかん こう 民間・公 えき 益</p>
		<p>ぶんか ぶんか ぶんか 文化関連情報の多言語による 発信</p>	<p>ぶんか ぶんか ぶんか 文化関連情報の多言語による 発信が十分とは言えない。</p>	<p>しな い ぶんか 市内で開催される文化行事・文 化活動を多言語で紹介する。</p>	<p>ほ ー む べ ー じ ホームページや印刷物の活用</p>	<p>こうえき 公益</p>
		<p>かんれん ぶんか 関連団体による文化芸術活動 の振興</p>	<p>ぶんか せい 文化施設は整備されてきてい る。</p>	<p>しみん みちか ぶんか 市民が身近に文化に触れること ができるイベントを開催する。</p>	<p>よこはま ぶんか ねづ 横浜らしい文化の根付く土壌を 醸成、特に中華街等との連携</p>	<p>ぶんか かん 文化関 れん だん たい 連団体</p>
	<p>④魅力ある かんこう 観光と いべんと イベント</p>	<p>よこはま かんこう ぶんか 横浜観光プロモーションの推 進</p>	<p>よこはま かんこう かんこう 横浜観光交流推進計画(H16- 21)に沿って推進している。</p>	<p>かいこう 150 ねん 開港150周年をターゲットとし て、オール横浜で推進を図る。</p>	<p>ねんかん かんこう かんこう 年間観光入込客数の増加</p>	<p>ぎょうせい かんこう 行政・公 えき かんこう 益・民間</p>
		<p>がいこく じん みるきょ 外国人にも魅力あるイベント の開催</p>	<p>がいこく じん たの 外国人にも楽しめるイベントを 増やすことが望まれる。</p>	<p>よこはま れきし ぶんか 横浜の歴史・文化を生かしたイ ベントを実施する。</p>	<p>さまざま かんこう かんこう 様々な観光資源の活用</p>	<p>ぎょうせい かんこう 行政・公 えき かんこう 益・民間</p>
		<p>がいこく じん かんこう かんこう 外国人観光客受入体制の充 実</p>	<p>がいこく じん かんこう かんこう 外国人観光客の訪問場所やタ クシーでの外国語案内が求め られる。</p>	<p>がいこく じん かんこう かんこう 外国人観光客の訪問場所やタ クシーでの外国語案内の充実を 進める。</p>	<p>がいこく じん かんこう かんこう 外国語を話せる人材の確保</p>	<p>みんかん かんこう 民間・公 えき かんこう 益・市民</p>
		<p>がいど ぼらん てい あ ガイドボランティアとしての参 加</p>	<p>きが らん ぶんか 気軽に案内してくれるガイドの 増加が望まれる。</p>	<p>ごがく よこはま ぶんか 語学と横浜の文化に詳しい市民 がボランティアでガイドを担当す る。</p>	<p>ていど ちしき かんこう ある程度の知識を必要とするこ と</p>	<p>しみん かんこう 市民・公 えき 益</p>
	<p>⑤港の魅力 づくり</p>	<p>おとず ひと ひと 訪れる人々に親しまれる港の 整備</p>	<p>ひと ひと みるきょ 人々が身近に感じられ、誰もが 気軽に立ち寄れる水際線や親 水空間が求められている。</p>	<p>みなと れきし ぶんか 港の歴史的資産や特徴のある景観を生 かしながら、市民や観光客に開かれ たウォーターフロントの形成を図る。</p>	<p>ないこう ちく さいせい 内港地区の再整備 すいきりよう かつせい 水域利用の活性化</p>	<p>ぎょうせい かんこう 行政・民 かん かんこう 間・公益</p>

こゝもく 項目	とりくみ 取組	げんじょう 現状	こんご すす かた 今後の進め方	じつげん む かだいとう 実現に向けての課題等	しゅたい 主体	
だいぶ 第2部(3) がいこくじん ひ 外国人を惹 きつける魅 く カづくり	みなと みりよく ⑤港の魅力 づくり	がいこくせききやくせん ゆうち 外国籍客船の誘致	がいこくせききやくせん きこうすう の なや 外国籍客船の寄港数が伸び悩 んでいる。	がいこくじんかんこうきやく よ こ 外国人観光客を呼び込むため、 がいこくせききやくせん ゆうち 外国籍客船を誘致する。	かいがい ゆうち みっしょん はけん 海外への誘致ミッションの派遣 こくないだいいりてん はたら とう 国内代理店への働きかけ 等	ぎょうせい じん 行政・民 かん こうえき 間・公益
		みなと ふ かんきょう 港と触れあう環境づくり	よこはまこう すいじつかいぜん しぜんかんきょう 横浜港の水質改善や自然環境 への要請が高まっている。	しぜんさいせい きよてん りゆうにゆう 自然再生の拠点づくりや、流入 する汚濁負荷削減に向けた取組 を進める。	じん しゅたい いべんと てんかい 民を主体とするイベントの展開 しみんとう きょうどう かんきょうかつどう 市民等との協働による環境活動 りんかいぶ こうつう えんかつか 臨海部の交通の円滑化	ぎょうせい じん 行政・民 かん しみん 間・市民 こうえき 公益